

取扱説明書

保管用

日立蛍光灯器具

(Hf)シリーズ 埋込形壁面照明器具

高出力形

HTM4108-MEU14

HITACHI
Inspire the Next

●電源は100～242Vまで対応 ●FHF32, FLR40S/M(/36), FL40S(S/37)のランプが全て使用可能

■器具の取付工事には電気工事士の資格が必要です。(施工は必ず電気工事店(有資格者)に依頼してください。)

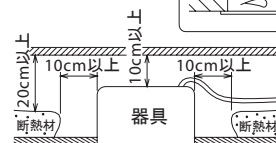
施工説明

工事店様へ・・・この取扱説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

警告

- 取付工事は「取り付けかた」にしたがい確実に行ってください。
取付工事に不備がありますと、火災・感電・落下の原因となります。
- 断熱材・防音材をかぶせて使用しないでください。(右図の空間を確保してください)
火災の原因となります。
- 天井埋込専用ですので壁取り付け・天井直付けおよび、傾斜天井への取り付けはしないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧±6%)以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。
- 器具を改造しないでください。火災・感電・落下の原因となります。

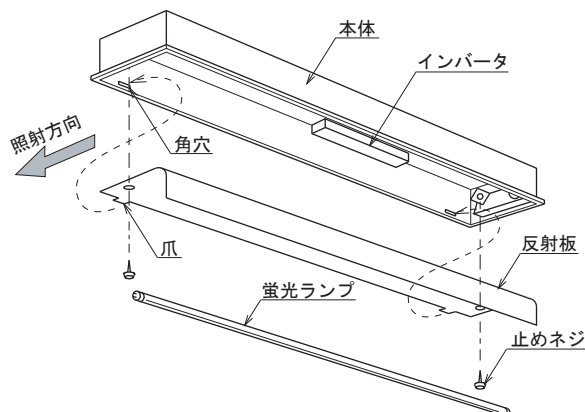


注意

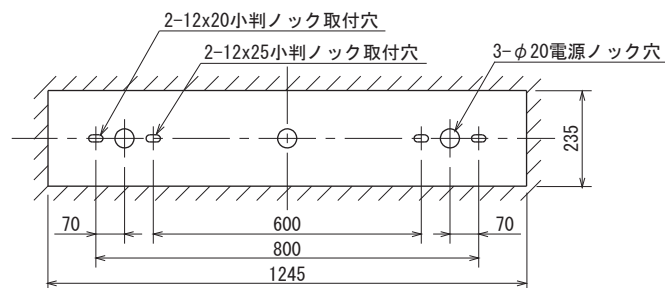
- 本器具は一般屋内用照明器具です。直射日光のあたる場所・湿気の多い場所・振動のある場所・雨の吹き込みを受ける場所・腐食性ガスの発生する場所・風などが直接あたる場所では使用しないでください。
火災・感電・落下の原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃以外では使用しないでください。火災の原因となることがあります。
- 絶縁抵抗試験は、必ず500V以下の絶縁抵抗計を用いてください。保護機能が作動し不点灯の原因となります。

各部の名前と取り付けかた

図は取り扱いを説明するため一部省略抽象化した図です。



器具質量と天井埋込穴(図1)



器具質量: 5.8 kg

1、天井埋込穴(図1)により、あらかじめ天井に埋込穴をあけ、その周りには野縁を組み補強する。

●取付ボルトは器具質量(図1)に十分耐える強度を確保する。取り付けに不備がありますと器具の落下の原因となります。

2、本体の電源穴(φ20ノック穴)を抜き、付属のブッシュを取り付け、電源線・アース線を引き込む。

3、取付ボルトに本体を確実に取り付ける。

(図2)にしたがい取付ボルトの出代は本体内部20mm以下にする。取付ボルトが出すぎると反射板が取り付けられなくなります。

4、電源線・アース線を速結端子台に接続する。(図3)

(1) 電源線・アース線を指定の長さ(ストリップ)し、接続穴にしっかりと差し込む。

差し込みが不十分ですと火災・感電の原因となります。

(2) 電源線・アース線は速結端子台に接続後、反射板に当たらないように処理する。

●アースはアース線接続穴を使用しD種接地工事を行う。

●解除する場合は、幅6mm以下のマイナスドライバーで解除部を押し(アース線は解除用穴に挿入し)電源線・アース線ははずす。

5、反射板・蛍光ランプを確実に取り付ける。

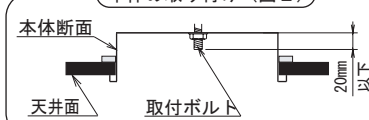
(1) 反射板の爪を本体側面の角穴に挿入し、反射板を押し上げ止めネジで確実に固定する。

(2) 蛍光ランプを確実に取り付ける。

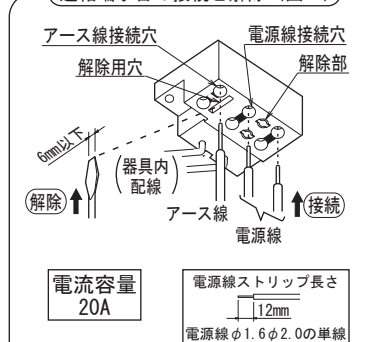
取り付けに不備がありますと反射板・蛍光ランプの落下の原因となります。

6、工事完了時に蛍光ランプが正常に点灯するか確認する。

本体の取り付け(図2)



速結端子台の接続と解除(図3)

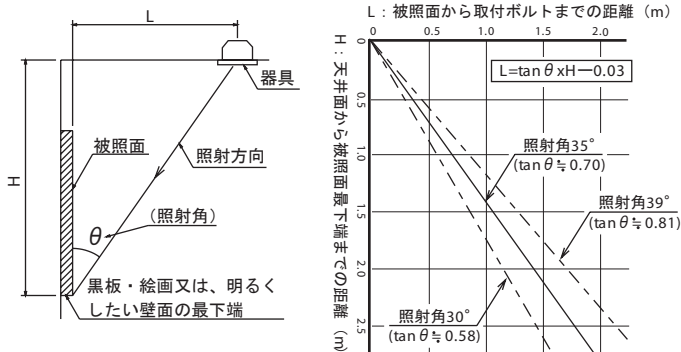


電流容量
20A

電源線ストリップ長さ
12mm

電源線φ1.6φ2.0の単線

取付穴位置 下図に示す位置に器具を取り付けます。



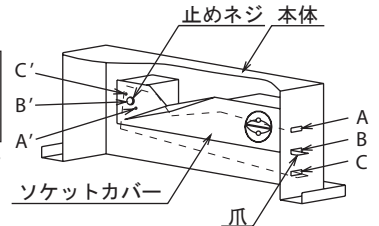
照射方向のかえかた

●天井下地材（チャンネル・梁など）により、標準取付位置に器具の取り付けができない場合や、器具取り付け後に被照面の位置が変わった場合は、次のように照射方向を変更できます。

1. ソケットカバーを固定している止めネジをはずし、本体から爪をはずす。
2. 下記の表と図から変更する角度に合わせて、ソケットカバーを再度取り付けます。

照射角	本体角穴	ソケットカバー穴
30°	A	A'
35°	B	B'
39°	C	C'

- 照射角の変更は上記角度のみです。
- 出荷時は照射角35°の位置に取り付けてあります。



取扱説明 お客様へ・・・この取扱説明書は必ず保管してください。

■このたびは日立蛍光灯器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。

警告

- 器具を改造しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 器具のすきまや放熱穴に、金属類を差し込まないでください。火災・感電の原因となります。
- 器具やランプを布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりして使用しないでください。火災の原因となります。
- 煙がでたり臭いがしたら、すぐに電源スイッチを切ってください。火災の原因となります。
- ランプ交換やお手入れは、取扱説明書により確実に行ってください。火災・感電・落下の原因となります。

安全に関するご注意

注意

- 器具の近くで温度の高くなるもの（ストーブ・ガスレンジ等）を使用したり、近くに燃えやすいものを置かないでください。火災の原因となります。
- ランプ交換の際には、本体表示および、取扱説明書にしたがって指定されたランプを使用してください。指定以外のランプを使用すると、火災・不点灯・絶縁不良の原因となります。
- ランプだけを器具から取りはずしての間引き点灯はしないでください。火災・短寿命・絶縁不良の原因となります。
- 蛍光ランプには物をぶつかけたり、荷重をかけたり、無理な力を加えたり、傷を付けたりしないでください。蛍光ランプの破損により、けがの原因となります。
- 明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃・点検をしてください。不具合がありましたら、そのまま使用しないで工事中・電器店に修理を依頼してください。
- 3～5年に1回は電気工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換してください。
- 照明器具には寿命があります。使用条件・使用環境で異なりますが、8～10年が交換の目安です。

使用上の ご注意

- 電波の弱い場所（山間・鉄筋建物等）では、ラジオや室内アンテナ使用のテレビに影響することがあります。
- 器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビなどを使用するのは、お避けください。リモコンを操作しても動作しないことがあります。
- 器具の近くでワイヤレスマイクの使用は、お避けください。雑音が入り正常に動作しないことがあります。

お手入れ・ランプ交換

必ず電源を切ってから行ってください。感電・やけどの原因となります。

- ランプの口金付近が黒ずみますとランプの寿命です。そのままご使用をつづけますと明るさが落ちるだけでなく、器具の寿命も低下させますので、新しいランプとお取り替えください。



禁止

みがき粉・アルカリ性薬品・ベンジンなどでふいたり殺虫剤をかけないでください。
また器具の水および洗剤での丸洗いは、絶対にお避けください。傷つき・変形・変色・サビの原因となります。
点灯中や消灯直後は、ランプが高温となっていますので手を触れないでください。やけどの原因となります。



必ずして
ください

ランプや反射板がほこりなどで汚れますと、明るさが低下します。汚れが目立ちはじめましたら器具よりランプをはずし、きれいな布をせっけん水に浸してよく絞ってからふきとり、さらに乾いた布でふいて仕上げてください。化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書にしたがってください。

お手入れなどでランプをはずし、再度取り付けの場合は、ランプを確実に取り付けしてください。取り付けに不備があると、落下してけが・物損の原因となります。

この器具はランプの種類（高周波点灯専用形・ラピッドスタート形・スタータ形）を問わず、右記のランプ全てが使用可能です。
ランプ交換の際は、日立製の右記適合ランプを必ずご使用ください。
ご注意：点滅回数の多くなる場所で使用になる際は、Hfランプ又はFLRランプの使用をお勧めします。FLランプは点滅寿命が短くなります。

適合ランプ

FHF32
FLR40S/M/36 (FLR40S/M)
FL40SS/37 (FL40S)

保証について

- 照明器具の保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。但し、電子安定器は3年間です。
- ランプなどの消耗品は対象外とさせていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店（工事中）にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

アフターサービス・・・ご使用中、器具に異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電気工事店または下記のところに、器具の形式・故障状況を連絡のうえ修理を依頼してください。